

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

(セミナー名称)	
講演者	: 佐々木理衣
所属	: 宮城県立がんセンター
テーマ	: 支えてくれる人とのパートナーシップの育み方
担当者氏名: 佐藤 富美子 教授	所属: 東北大学大学院がん看護学分野
内線: 7926	Email: <a href="mailto:fsato@med.tohoku.ac.jp">fsato@med.tohoku.ac.jp</a>
1. 実施年月日:	
令和 3年 8月 6日	
2. 開催場所:	
ZOOM	
3. 関連分野:	
家族看護、がん看護、パートナーシップ	
4. 対象者:	
一般の方々、医療従事者、学生等、どなたでも	
5. 参加人数: (お分かりの範囲で内訳をお知らせください。教員、学生など)	
参加希望者 59名、参加者 32名	
6. 成果:	
<p>今回の講演会は、コロナ禍のためオンラインシステムを利用した講演会となった。講演者は、本学の修士課程の修了生であり、がん看護専門看護師として組織横断的に活動している。</p> <p>講演では、患者の立場に立って、支える人とは誰か、病気になって感じる気持ちの揺らぎ、病気によって変化することについて説明があった。その患者を支えるパートナーシップの構築方法として、対等な信頼関係を構築する関わり方、相互理解の促進方法、患者及び医療者とのコミュニケーション方法、仕事との調整方法などについて実践的な視点で合講演いただいた。</p> <p>参加者からは、患者に関わりたいが声かけの仕方に悩むといった相談が寄せられた。参加者の患者家族からは、病気について詮索されることが嫌な場合もあり、患者は誰に相談しようか自分で選択していくことができる。側にいることのメッセージが伝わるようにしていただければ、過分な関わりは不要であることの発言があった。本講演会をもとに、患者を支えていくためには、患者が何を必要としているのか、患者自身が助けを求めていく力があり、そこを求められた時にはいつでも側で支援することができるといった、患者の力を信じる支援が、よりよいパートナーシップの構築と成りうることが検討された。</p>	

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

